

ちょっといわせてはいよ

你好!ニーハオ!

熊本市 中国国際交流員(CIR)
楊 淳麗(ヨウ ジュンレイ)

熊本の皆様、はじめまして。中国広西チワン族自治区の南寧市から参りました、楊淳麗と申します。南寧市は中国の南に位置し、チワン族という少数民族の原住地です。勿論、私もチワン族です。高校時代から日本のドラマや番組に興味を持ちはじめ、大学に入ると日本語を専攻して四年間勉強しました。大学二年生の時に、関西地方へ旅行に行ったことがあります。和風な古都奈良、伝統美の京都、賑やかで活気のある大阪、中華風情が溢れている神戸…それぞれ独自の文化と魅力を持っている町々、美しい景色と温かい人情が、今でも忘れられません。

特に強く印象に残ったことの一つは、日本人の強い環境保護意識です。日本の街や道路はほとんどゴミ箱がないのに綺麗で清潔です。ゴミを家まで持ち帰っている人が多いと聞きました。中国では、数メートルおきにゴミ箱が設置されて、清掃員がよく掃除をしていることが多いので、初めて日本に来た時なかなか慣れることが出来ませんでした。「自分たちの街は自分たちで守る」という意識に感心しました。

二つ目は、日本人の他人に対する思いやりと優しさです。公共の場で大声で喋らないように思いやりを持って行動したり、なるべく迷惑をかけないように自制したりすること、素晴らしいと思います。また、私が大阪で買い物をしてホテルへ帰る時、迷子になったのですが、途中でお婆さんに道を尋ねると、すごく親切で、ホテルまで案内してくれました。親切に手伝いしてくれる姿が、私の心に強く



2007年、金閣寺の前で



食べることが大好き!

4月より、熊本市役所に、中国国際交流員として勤務する楊淳麗さんより、熊本の皆様へのメッセージをいただきます。

残りました。この旅を通じて、真の日本の姿を垣間見ることができました。小さな国土の日本がいかにして奇跡を起こしてきたのか、少しだけ理解できたような気がします。

大学卒業後、広西チワン族自治区北海市の外交事務を主管する機関で働き、国際交流の仕事をしていました。仕事で日本と関わるのがよくありますが、その中で特に興味深いのは、毎年開催されるアセアン博覧会の仕事です。熊本県は広西チワン族自治区の友好姉妹都市なので毎年出展し、熊本のことを広西の人々にPRします。その時、私もハッピーを着て、日本人スタッフと一緒に熊本のお酒や食べ物などの試飲・試食を提供したり、伝統的な工芸品を展示したりしていました。皆さんの話を通訳しながら、お互いに好奇心と友好の気持ちを強く感じていました。

今、中日関係は波風が立っていますが、世界中の人々が紡いだ「絆」、「愛」、「優しさ」、「敬意」などは、どんなことにも負けないはずだと思います。両国民はとても友好的だと深く信じています。ですから、日本の社会、文化についてもっと知りたい、中日友好交流の架け橋になりたいです。日本への旅行経験はありましたが、真の日本社会に身を投じて生活する経験はなかったので、交流員として、もう一度日本に行きたいという気持ちで、やっと熊本にきました。ここで、さまざまな体験をして成長し、自分の

可能性を広げたいと思います。また、中国と日本の異なる文化や考え方をできるだけたくさん理解して、帰国後、自分が感じた真の日本を中国の人々に伝え、中日友好交流のために、力になるように努力して行きたいと思います。熊本市の皆様、どうぞ宜しくお願い致します。



アセアン博覧会で
熊本のハッピーを着た私!



先月、藤の花見に行きました。